

中心市街地活性化の推進

【地域政策室】

1 目 的

本市の中心市街地は、県都・宇都宮の顔として発展してきたが、大規模集客施設の郊外出店や人口の郊外部への転出などにより、衰退が進んでいることから、「50万都市」にふさわしい活力と魅力ある中心市街地の形成を図るため、施策・事業を総合的・一体的に推進していく。

2 これまでの経過

- | | | |
|-------|-----|--|
| 平成11年 | 3月 | ・宇都宮市中心市街地活性化基本計画策定 |
| | 10月 | ・宇都宮まちづくり推進機構設立 |
| 平成12年 | 5月 | ・中小小売商業高度化事業構想（TMO構想）の認定
（宇都宮商工会議所がTMO機関となる。） |
| 平成14年 | 8月 | ・宇都宮市都心部グランドデザイン策定 |
| 平成15年 | 8月 | ・宇都宮にぎわい特区（構造改革特別区域計画）の認定 |
| | 11月 | ・ラパーク長崎屋宇都宮店出店（にぎわい特区） |
| 平成17年 | 4月 | ・ララスクエア宇都宮出店（にぎわい特区） |
| 平成18年 | 5月 | ・改正まちづくり三法の成立 |
| | 8月 | ・改正中心市街地活性化法の施行 |
| | 11月 | ・オリオンスクエア供用開始 |
| 平成19年 | 3月 | ・宇都宮城址公園一部供用開始 |
| | 7月 | ・うつのみや表参道スクエアオープン・バンバひろば供用開始 |
| | 11月 | ・改正都市計画法の施行 |
| 平成20年 | 11月 | ・JR宇都宮駅東口駅前広場供用開始 |
| | 12月 | ・新「宇都宮市中心市街地活性化基本計画」の策定着手 |
| 平成21年 | 4月 | ・宇都宮市中心市街地活性化協議会設立（任意） |
| | 9月 | ・宇都宮まちづくり推進機構法人化（特定非営利活動法人）
※ 中心市街地整備推進機構の指定 |
| | | ・宇都宮市中心市街地活性化協議会法定化 |
| | 11月 | ・宇都宮アンテナショップ「宮カフェ」オープン
～ 宇都宮ブランドの発信 ～ |
| 平成22年 | 3月 | ・新「宇都宮市中心市街地活性化基本計画」策定 |

3 新「中心市街地活性化基本計画」の推進

(1) 策定趣旨

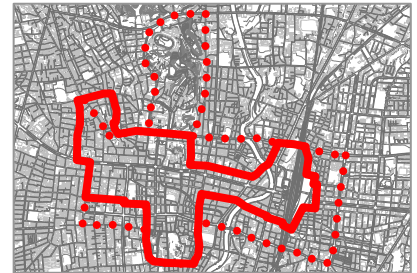
中心市街地は、第5次総合計画においても、本市が目指す将来の都市空間の姿「ネットワーク型コンパクトシティ」における都市拠点として位置づけたところであり、本市の発展を牽引する拠点形成の実現と、さらなる活性化が必要であることから、平成14年に策定した「宇都宮市都心部グランドデザイン」の第2期戦略プロジェクトとして、新たな「中心市街地活性化基本計画」を策定した。

(2) 基本計画の概要

①対象区域

基本計画の対象区域は、大通り、オリオン通りを中心とする168haの区域（右図実線）

（都心部グランドデザインの対象区域（320ha）は、右図点線）



②計画期間

平成22年度から平成26年度までの5ヵ年

③施策事業

事業の実施主体やスケジュールを明確にした、実行性の高い39事業（民間事業を含む）

④目標指標・目標値

・商業地が様々な顔を持つ賑わいのあるまち ～ 集客 ～

事業所数：2,794事業所（平成18年）⇒2,881事業所（平成26年）

・様々な人々が行き交うまち ～ 回遊 ～

歩行者・自転車通行量：46,987人（平成21年）⇒49,300人（平成26年）

・便利で快適な住みたいまち ～ 居住 ～

居住人口（夜間人口）：7,966人（平成21年）⇒8,700人（平成26年）

(3) 主な新規事業

①小幡・清住地区整備事業

区画整理事業を中心とした住環境の整備・都心環状線未整備箇所の着手

②釜川プロムナード活用事業（宇都宮まちづくり推進機構等）

釜川沿川における四季を通して散策を楽しめる花の植栽等

③中央生涯学習センター改修事業

「多世代交流機能拠点」の形成等

④オリオン通り商店街振興組合未来創生事業（オリオン通り商店街振興組合）

大学と連携した「文化芸術による街づくり」やアーケードの更新等

⑤大型映像装置を活用した賑わい創出事業

オリオンスクエアに映像装置を設置・ブランド発信やパブリックビューイング等

⑥おもてなし休憩施設設置事業

オリオン通りにおける休憩用ベンチの設置・歩行者・自転車分離社会実験等

- ⑦ユニオン通り商店街商業活性化事業（ユニオン通り商店街振興組合）
「ほっと！ステーション」運営事業や「食」をテーマとした回遊拠点の形成 等
- ⑧旧公益質屋活用事業
大谷石蔵を集客装置として活用した回遊性の向上
- ⑨自転車利用・活用促進事業 / 「自転車のまち宇都宮」発信事業
自転車道や「サイクル・ステーション」の整備・レンタサイクルの拡大
- ⑩共通駐車券電磁化事業（中心商店街連合会）
中心部商店街で発行している共通駐車券の電磁化による来街者の利便性向上

（４）推進方策

民間事業主体である宇都宮まちづくり推進機構や宇都宮商工会議所，オリオン通り商店街等との連携を図るとともに，中心市街地活性化協議会における民間事業に関する協議などを踏まえ，総合的かつ一体的に活性化に向けた取組を推進していく。

4 これまでの主な取組

（１）センターコアを支える商業・文化・情報等の機能整備

- ①宇都宮馬場通り中央地区市街地再開発事業
- ②バンバ再生事業
- ③釜川プロムナード活用事業
- ④東武宇都宮駅周辺整備事業

（２）ＪＲコアを支える新都市拠点としての交通結節，情報サービス機能等の整備

- ①ＪＲ宇都宮駅東口周辺整備事業
- ②ＪＲ宇都宮駅西口周辺整備事業

（３）シンボル・文化交流軸としての南北都心軸の整備

- ①歴史軸の整備事業
- ②シンボルロード沿道整備事業

（４）都市基盤整備

- ①大通り公共交通の整備

（５）その他（主要施策）

- ①都心居住の推進 ②商業・観光振興策 ③再開発事業の推進
- ④景観・環境対策 ⑤民間の取組事業の支援

5 現在進行中の重点取組

- （１）宇都宮馬場通り西地区市街地再開発事業，宇都宮駅西口第四Ｂ地区市街地再開発事業
- （２）ＪＲ宇都宮駅東口地区整備事業
- （３）ＪＲ宇都宮駅西口周辺地区の整備
- （４）魅力ある都市景観づくりの推進（景観形成重点地区の指定等）